

薬物乱用防止教室を行いました！

～6 年生 保健「病気の予防」～

6 年生は保健の学習で病気の予防を学習しています。その一環で1月28日（火）に講師の先生をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。

今回の授業では、薬と薬物の違いは何か、出回っている薬物の種類、薬物乱用をするような影響がでるのか、薬物乱用をしてしまう人とは、など様々なお話をしてくださいました。

特に、薬物を使うと脳が溶けてしまうというモデル実験は児童の印象にも強く残ったようで、薬物乱用の怖さを実感することができました。

また、身近な人に勧められたときの断り方も学びました。意外にも身近な人に誘われて始めてしまう人が多いことを改めて知り、薬物乱用は絶対にしてはいけないことなのだ気持ちを強くもちました。

最後に、薬剤師の先生から「自分に自信をもつこと」「自分の好きなことを見つけて一生懸命取り組むこと」が安全に生活する上で大切なことだよとメッセージをもらいました。これからの人生で辛いことや苦しいこともあるけれど、どんなときでも絶対に薬物に手を出してはいけないことを心に刻んで、人生を送ってほしいと思います。

子供たちのために貴重なお話を聞かせてくださった講師の先生方、本当にありがとうございました。

